



コールスロットリングの設定

- コールスロットリングの概要 (1 ページ)
- コールスロットリング設定タスク フロー (2 ページ)

コールスロットリングの概要

コールスロットリングによって、システムは新しいコール試行を自動的にスロットルまたは拒否できます。このアクションは、ユーザがオフフックからダイヤルトーンを聴取するまでに遅延を認識するようになる状況で実行されます。

この遅延を引き起こす可能性があるいくつかの要因は、次のとおりです。

- 過度なコールアクティビティ
- 低い CPU の可用性
- ルーティング ループ
- ディスク I/O の制限
- ディスク フラグメンテーション

システムはコールスロットリング パラメータに指定された値を使用して、ダイヤルトーンに遅延が生じている可能性があるかどうかを判別し、状況に応じてそれ以上コールスロットリングが必要なくなるタイミングも判別します。

ダイヤルトーンの過度な遅延を防ぐためにスロットリングが必要な場合、システムは Code Yellow 状態に切り替わり、新しいコール試行をスロットル（拒否）します。

ダイヤルトーンの遅延が、call throttling サービス パラメータで設定したしきい値を上回るとシステムが計算した場合、Unified Communications Manager は新しいコールを拒否します。コールスロットリングを有効化すると、新しいコールを試みたユーザはリオーダー音を受信します。電話のモデルに応じて、電話機のディスプレイにプロンプトが表示される場合もあります。

コールスロットリングは、ユーザがシステム管理者に不満を言ったり、システムのダウンや電話の破損ではないかと疑問を抱かせたりすることのある過度な遅延のタイプを効果的に防ぎま

■ コールスロットリング設定タスク フロー

す。このような遅延が発生するタイミングを予測するため、システムは常にシステムをモニタしています。

ダイヤルトーンへの遅延が call throttling サービスパラメータのガイドラインの範囲内である場合は、Unified Communications Manager は現在の Code Yellow ステータスを終了してスロットリングを中止し、新しいコールを再び許可します。

コールスロットリング設定タスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	コールスロットリングの設定 (2 ページ)	コールスロットリングは、システムが過負荷なコールアクティビティ、低い CPU の可用性、ディスクフラグメンテーションなどの状況を検出すると自動的に有効になります。
ステップ2	メモリスロットリングの設定 (3 ページ)	システムのメモリスロットリングを設定します。

コールスロットリングの設定

コールスロットリングは、システムが過負荷なコールアクティビティ、低い CPU の可用性、ディスクフラグメンテーションなどの状況を検出すると自動的に発生します。これらの状況が修正されると、システムはスロットリングを自動的に終了します。コールスロットルは、advanced service パラメータを介して設定されます。ほとんどの導入の場合、デフォルト設定で十分です。



注意

コールスロットリングパラメータは、カスタマーサポートに指示された場合を除き、変更しないことを推奨します。

手順

- ステップ1 Cisco Unified CM Administration で、[システム(System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)] の順に選択します。
- ステップ2 [サーバ (Server)] ドロップダウンリストからサーバを選択します。
- ステップ3 [サービス (Service)] ドロップダウンリストから、[Cisco CallManager] を選択します。
- ステップ4 [詳細設定 (Advanced)] をクリックします。

ステップ5 [コールスロットル (Call Throttling)] で、call スロットル サービスのパラメータの値を設定します。パラメータ ヘルプの説明は、GUI にあるパラメータ名をクリックします。

- Code Yellow Entry Latency
- Code Yellow Exit Latency Calendar
- Code Yellow Duration
- Max Events Allowed
- System Throttle Sample Size

ステップ6 [保存 (Save)] をクリックします。

メモリスロットリングの設定

次の手順を使用して、システムのメモリスロットリングを設定します。

手順

ステップ1 Cisco Unified CM Administration で、[システム(System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)] の順に選択します。

ステップ2 [サーバ (Server)] ドロップダウンリストから、Unified Communications Manager サーバを選択します。

ステップ3 [サービス (Service)] ドロップダウンリストから、[Cisco CallManager] を選択します。

ステップ4 [Advanced] をクリックします。

ステップ5 Enable Memory Throttling パラメータを [True] に設定します。

ステップ6 [メモリスロットル (Memory Throttling)] 領域で、追加のサービス パラメータの値を設定します。パラメータ ヘルプでは、GUI でパラメータ名をクリックします。

ステップ7 [保存 (Save)] をクリックします。

■ メモリスロットリングの設定